

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：米沢市

活動地域：山形県米沢市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

『地球に感謝！

なせばなる上杉鷹山流のローカルSDGs』

山形県 米沢市



上杉鷹山

米沢牛



人口8万人のまちに
3つの大学

学園都市米沢





財政難に陥り破綻寸前となっていた米沢藩は、上杉鷹山（1751～1822）を第9代藩主として迎え入れる。鷹山公は、生涯をかけて改革を実施し、農村復興、殖産振興、水害・飢饉・火災等災害対策の強化により、藩の危機を救い、幕末まで続く藩政の礎を築く。

なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGsの実現

【米沢市SDGs未来都市計画】2030年のあるべき姿

鷹山公が根付かせた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち

「現代の藩政改革」による健康長寿日本一のまち

「草木塔」などの本市独自の精神文化を基軸にSDGsを実装する環境教育先進都市

産業振興

- ・紅花文化の利活用
- ・米沢市版DMOの設立
- ・学生の地域内への就職促進

米沢ブランド戦略推進

- ・米沢品質の向上
- ・TEAM NEXT YONEZAWAの推進
- ・米沢品質AWARDの実施

健康長寿日本一推進

- ・FUN+WALKへの参加
- ・大学と連携した減塩教室の開催
- ・市立病院と民間病院の連携

ICT活用推進

- ・地元企業と連携したGIGAスクールの推進
- ・コミュニティーセンターへのWi-Fi整備

ゼロカーボンシティ実現

- ・シンポジウムの開催
- ・情報提供
- ・地域循環活動の取材、発信
- ・ワークショップ、勉強会の開催

米沢版SDGsプラットフォーム創出

- ・それぞれの取組の見える化
- ・個人、団体の連携の促進

企業

大学

高校

小中学校

金融

行政

個人

資源

牛肉まつり

米沢牛

メタン発酵バイオガス発電プラント

畜産農家（肉牛肥育、酪農、養豚）



木製玩具



草木塔



伝統工芸品(笹野一刀彫)

やまがた炭
(米沢産ナラ材使用黒炭)

斜平(なでら)山

かてもの

山林

米沢市民、団体、学生

米沢市SDGs推進協議会

課題

人口減少

少子高齢化

環境保全意識醸成

温室効果ガスの削減

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

鷹山公が根付かせた「ものづくりマインド」が市内経済をけん引するまち

- ICTを活用したGIGAスクールの取組
 - ・市内企業を小中学生に紹介
 - ・市内企業と連携したプログラミング教育の実施

- 米沢ブランド戦略の取組
 - ・米沢品質AWARDの開催

- 紅花を用いた地域振興
 - ・世界農業遺産への申請



米沢品質AWARDを受賞した
地元産木材を使用したモクロック



・米沢市は全国有数の紅花生産地
紅花を使用した米沢織物の伝統が息づいている。これらを活かし、観光、教育、産業、文化など様々な側面からのまちづくりを行っている。

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

「現代の藩政改革」による健康長寿日本一のまち

目指せ! 健康長寿 日本一

★★★

【ラン&ウォークイベントとは?】

本市と協定を結んでいる㈱アルピーズが運営しているスマートフォンのアプリを使ったバーチャルスポーツイベントです。

令和2年10月に初めて開催された「オクトーバー・ラン&ウォーク2020」では、137自治体が参加住民の平均値を競う「自治体対抗戦」で、市民の皆さんの積極的な参加により、本市が総合表彰で全国1位に輝きました。

今年5月開催の「さつきラン&ウォーク2021」では企業対抗戦

【第39回】

さつきラン&ウォーク 2021 企業対抗戦 市内26社、延べ626人が頑張りました!

■問合せ/スポーツ課健康スポーツ担当 ☎23-6535

が加わり、市内から26社がエントリー。個人戦ではランニングの部、ウォーキングの部で延べ626人が参加し、1か月間継続して取り組みました。

【継続することが大事です】

健康づくりは、自身の体力や生活リズムに合わせて、継続して取り組むことが重要です。「ラン&ウォーク」イベントで使用する「TAITTA」「スポーツタウン WALKER」アプリ(両方無料)は、イベント期間外でも山形県内、米沢市内での順位をリアルタイムで確認でき、継続して取り組むこと

ができます。

今回は10月に「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」の開催を予定しています。この機会にアプリをダウンロードし、日々の運動に役立ててください。

【健康イベント盛りだくさん!】

10月に「米澤上杉城下町マラソン2021」を開催します。今回は、気軽に走れる「健康長寿の部(2km)」や楽しく歩く「ウォーキングの部(5km)」を新たに設けました。「楽しくちょっと体を動かすイベントに参加したい」という人は、ぜひ参加してください。

全国自治体対抗となるオクトーバーランウォーク(10月開催)では、
米沢市R2 **全国1位**、R3 **全国3位**
米沢市長 個人の部 R3 **山形県内1位**

様々な取組例

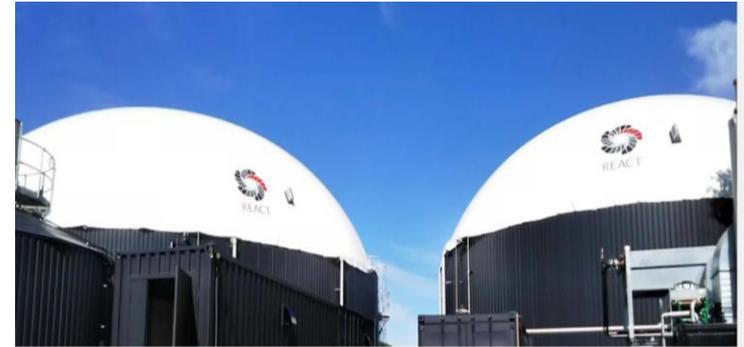
- よねざわ健康マイレージ
- 食育絵本の作成
- 健診受診率の向上
- コミセンが行う事業への支援を通じた生きがいづくり



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

「草木塔」などの市独自の精神文化を基軸にSDGsを実装する環境教育先進都市

- 市内の中学校にSDGsに関する出前講座の実施
- 鷹山流SDGsを題材にした研修会の実施
 - ・地域循環に資する活動の記録、紹介
 - ・Zoom勉強会
 - ・ゼロカーボンシティ推進シンポジウム
 - ・バイオガス発電に係るセミナー受講



市内で牛糞を用いたバイオマス発電所を運営するリアクトバイオマス米沢

現在の米沢市の再生可能エネルギーを合計すると・・・
約48,000kW

○現時点で、**一般家庭の約19,000世帯分**の電気エネルギーを賄えるだけの発電を行っている。

○米沢市の自然を生かした再生可能エネルギーは、**今後も様々稼働していく見込み、市内全ての一般家庭**の電気エネルギーを賄えるだけの発電が見込まれる。

協議会や研修会などの開催

- 米沢市SDGs推進協議会の開催 全4回
- 職員向け研修会の開催 全4回
- 市民向け研修
 - ・米沢SDGsカンファレンス2021の開催
市内4団体の事例発表
 - ・ローカルSDGs入門
 - ・環境シンポジウム
 - ・地域循環共生圏とは
 - ・鷹山流SDGsとは（再掲）
 - ・吉田教授の学べる経済ニュース

令和3年度ゼロカーボンシティ推進シンポジウム

ゼロカーボンシティは 地域経済を豊かに、 暮らしを快適にする

令和2年10月8日、米沢市はゼロカーボンシティ宣言を行いました。2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すものです。高い目標ですが、地球温暖化を防ぐために必要な目標で、日本以外の多くの国も同様の目標を掲げています。ゼロカーボンシティを実現するために重要なのが、省エネルギーと再生可能エネルギーです。特に自然に恵まれた米沢市においては、省エネルギーで暮らしを快適にしていくことと、再生可能エネルギーを活用して地域経済を豊かにしていくことがゼロカーボンシティへとつながってまいります。シンポジウムでは、米沢市がどんなゼロカーボンシティを目指すべきなのか語り合います。

開催日時 令和3年 12月4日(土) 13:30～ 開場 13:00

開催場所 伝国の社 2階 大会議室

定員 80人 (先着順)

講師 三浦秀一氏
東北芸術工科大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科 教授

事例発表団体

- 山形県立米沢工業高等学校
「未来を担う工業人として」
～米工版スマートファクトリーの軌跡と
SDGsと未来社会を担う～
- NECパーソナルコンピュータ
株式会社
- いちでEODエンジニア株式会社
- リアクトバイオガス株式会社
- 株式会社米任建設
- 山形県立米沢環境総合高等学校
「全固体電池の性能向上に用いる
エピタキシャル成長の懸架的作成方法の確立」

お申込み・お問い合わせ 米沢市市民環境部環境生活課
kankyot@city.yonezawa.yamagata.jp
TEL: 0238-22-5111

米沢市

ゼロカーボンシティ推進シンポジウムの開催

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

勉強会 & ワークショップ 開催

Zoomを使ったWEB勉強会とワークショップでSDGsを学ぼう!

興味あるのだけ
参加も可能!

勉強会
完全予約制

ローカルSDGsを学ぼう
開催日時: 令和4年1月14日(日) 18:00～
開催場所: Zoom
定員: 40名(先着順)
講師: 東北芸術工科大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科 教授 三浦秀一氏

勉強会
完全予約制

上杉鷹山がSDGsしてたってほんとは?!
開催日時: 令和4年1月21日(日) 18:00～
開催場所: Zoom
定員: 40名(先着順)
講師: 九里学園高等学校
社会科 教員 遠藤英氏

ワークショップ
完全予約制

**皆で考えよう! 米沢の未来を描く
[現代版・上杉鷹山流SDGs]とは?**
開催日時: 令和4年1月29日(日) 14:00～17:00
開催場所: 米沢市役所 3階 庁議室
定員: 40名(先着順)

詳しい内容・お申し込み方法は裏面をご覧ください

米沢市

ローカルSDGs、鷹山流SDGsについて学ぶ勉強会の開催
※ワークショップは新型コロナウイルス感染拡大の影響により未実施)

取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

- 探求学習の文脈で一緒に何かできないかといった相談や教育旅行において、米沢市の取組を紹介した上でSDGsを学べないかなどの相談が寄せられるようになった。
- 高校生が小中学生にSDGsを教える取組が提案されるなど、異年齢同士の取組が進みつつある。
- 社会貢献の一環として新たな提案をしてくださる企業がでてきている。
- 民間の若手が中心となったまちづくり会社が設立され、動きが活発化してきた。

- 担当部局の役割分担の明確化

⇒既存の協議体との連携など

- 地域循環共生圏あるいは、SDGs そのものの取組、実践に関する理解を市民全体に広げていく必要がある。

⇒デジタルメディアの効果的な活用

今後の展望

●地域プラットフォームの構築に向けた取組

- ・更なるステークホルダーの巻き込み、ビジョンの具体化、マンドラのブラッシュアップ
- ・地域の方々がざっくばらんに話し合える機会の創出

●事業化に向けた取組

- ・事業のタネのブラッシュアップ、事業者の巻き込み、事業化に向けた事前情報の収集、勉強会の開催など